

音楽で黒人差別と闘う

たたか

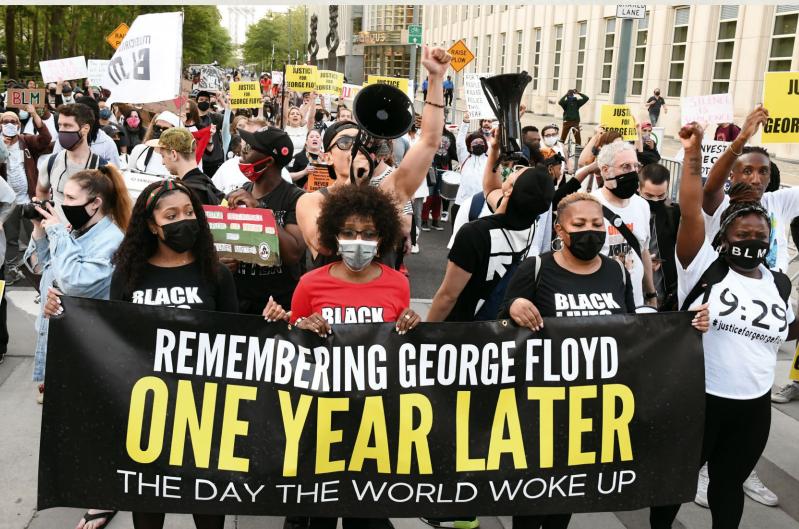
【ブラック・ライブス・マター（BLM）運動】

黒人男性が暴行され死亡した事件をきっかけに始まった、黒人への暴力や人種差別をなくすことを訴える運動。アメリカだけでなく、全世界に広がった。「ブラック・ライブス・マター」は、「黒人の命も大切だ」という意味。

BLM運動も影響

2021年5月25日掲載

アメリカで黒人男性のジョージ・フロイドさんが、白人警官に首を圧迫されて



デモ行進をする市民。フロイドさんが亡くなつて1年がたち、事件を忘れないよう訴えた
=2021年5月、アメリカ・ニューヨーク

死亡した事件から、2021年5月25日で1年となる。これを機に拡大した、人種差別に抗議するブラック・ライブズ・マター（BLM）運動は、音楽界にも大きな流れを生み出した。アメリカの音楽には、古くから差別に苦しむ人々が歌に思いを託してきた歴史がある。

「我々は何の理由もなく殺されている」。アメリカの音楽界で最も権威のあるグラミー賞の舞台で、ア

メリカ系アメリカ人のラッパー、

リル・ベイビーは、たぎる怒りを

前面に出し、警察や司法権力の不正を歌つた。

ヒップホップに詳しい音楽ライ

ターは「人種差別に対する抗議は、

ヒップホップが生まれた1980年代からの大きなテーマ」とした

上で、「2020年以来、アメリカ社会においてラッパーたちが立ち

上がる」として、SNSなどを通じ

アメリカの歴史を振り返れば、こうし

た音楽を用いた人種差別への抗議は、

ずっと以前からあった。黒人音楽の文化

で、人々の間に人種差別に対する意識の変化が広がつた」と語る。

に詳しい立命館大学の教授は「*奴隸制度時代は、黒人が集まって歌つたり、楽器演奏をしたりするには禁止されていた」と語る。「古くから農民ら労働者が、作業のリズムに合わせて歌う仕事歌は歌い継がれていた。中には、抗議の意味合いがある歌もあつた」と話す。こうした歌は、農場主などの白人に抗議の意思がないが、複数の意味に取れるよう、工夫していた曲も多かつた。

1865年に奴隸制は廃止されたが、差別は消えなかつた。教授は「黒人が自らの境遇を主張するような曲を表だつて歌える環境ではなかつた」と話す。こうした厳しい時代に差別に反対する強いメッセージを発信したのは、1939年にヒットした「奇妙な果実」だ。

「南部の木々は、奇妙な実をつける。血は葉を流れ、血は根に滴る。黒い体は南部の風に揺れる」という歌詞は、南部で多くの黒人が犠牲になつたリンチ（私刑）による虐殺の際、木につるされる様

ターブリーズ（息ができない）」と繰り返した。歌手のハーリーは、この言葉をタイトルにした楽曲を事件の3週間後に発表し、グラミー賞の最優秀楽曲賞を受けた。アフリカ系の血を引く彼女は、歌の中でこう訴えかけている。「私たちは死ぬ私たちには同じ権利はないから」

日本の音楽評論家は「運動に共感し、差別と闘おうとするアーティストが増えた。同じ*マイノリティーである女性やGBTQ（性的少数者）の動きは特に活動だつた」と分析する。ビリー・アイリッシュら白人のポップスターによる発言や作品による抗議も、非常に多かつた。

①人種や年代を問わず、より幅広い属性の人々が運動を支持したのも特徴的だ。

②アメリカの歴史を振り返れば、こうして音楽を用いた人種差別への抗議は、

ずっと以前からあった。黒人音楽の文化

に詳しい立命館大学の教授は「*奴隸制度時代は、黒人が集まって歌つたり、楽器演奏をしたりするには禁止されていた」と語る。「古くから農民ら労働者が、作業のリズムに合わせて歌う仕事歌は歌い継がれていた。中には、抗議の意味合いがある歌もあつた」と話す。こうした歌は、農場主などの白人に抗議の意思がないが、複数の意味に取れるよう、工夫していた曲も多かつた。

1865年に奴隸制は廃止されたが、差別は消えなかつた。教授は「黒人が自らの境遇を主張するような曲を表だつて歌える環境ではなかつた」と話す。こうした厳しい時代に差別に反対する強いメッセージを発信したのは、1939年にヒットした「奇妙な果実」だ。

「南部の木々は、奇妙な実をつける。血は葉を流れ、血は根に滴る。黒い体は南部の風に揺れる」という歌詞は、南部で多くの黒人が犠牲になつたリンチ（私刑）による虐殺の際、木につるされる様

が暗喩あんゆされている。詞を書いたのは白人だが、歌ったのは黒人のビリー・ホリデイ(1915~59)だ。

1960年代になると、「ゴスペル」を原曲とした「勝利を我們に」など、黒人自身による歌が「公民権運動」をリードすることとなつた。それから半世紀が経つてなお、先人が歌に託した希望は実現せず、人種差別を題材にした楽曲が歌われなければならぬ現実がある。音楽評論家は「③闘いが延々と繰り返され、本当に終わることはない。」と語る。ただ、今回、黒人

以外の人々が多く参加したことは、希望と呼べるのかもしれない」と話す。

*マイノリティ…少数民族。人種や民族、宗教、性別、性的指向などの点で数が少ない人々、社会的な弱者。

*奴隸制度…ここでは、アメリカの農園や鉱山などで、アフリカの黒人を奴隸として働かせていた制度。1865年に廃止されるまで200年以上続いた。

ことばチェック ラッパー／ヒップホップ／LGBTQ／リンチ／暗喩／ゴスペル／公民権運動

①「人種や属性」とあります。が、実際にどんな属性の人々がBLM運動を支持しましたか。記事を参考に書きなさい。

が支持した。

②「音楽を用いた人種差別への抗議」のため、奴隸制度時代の黒人は、どんな工夫をしましたか。記事を参考に書きなさい。

な曲にする工夫。

③「闘いが延々と分からない」と考えられるのは、なぜですか。「半世紀」という言葉を使って、記事を参考に説明しなさい。

BLM運動のきっかけとなつたのは、どのような事件ですか。事件があつた年と合わせて、記事を参考に説明しなさい。

差別のない社会を実現するため、私たちは何をするべきだと思いますか。あなたの考えを書きなさい。

2

2020年以来、アメリカのラッパーたちが立ち上がつた結果、どのようなことが起こりましたか。記事を参考に書きなさい。

6

BLM運動のきっかけとなつたのは、どのような事件ですか。事件があつた年と合わせて、記事を参考に説明しなさい。

こと。



人種差別に対する抵抗の歴史について、調べてみよう。